

平成21年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
							目標年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
								うち工事費	進捗率					
								うち用地費	進捗率					
森林整備事業(林道事業)	1	経ヶ峰線	津市	再評価実施後、一定期間が経過している事業	【全体事業概要】 延長:14,000m 【事業目的】 路網の未整備な経ヶ峰周辺の森林における骨格となる林道として、森林の適正管理と森林資源の有効利用を図るとともに、美里町平木地区と芸濃町河内地区を結ぶ地域住民の生活基盤として、また錫杖湖周辺の観光資源から、経ヶ峰頂上へのアクセス道として、自然を活かした集客交流産業の活性化を図ることを目的とする。	H6	3,977	46.3%	延長:5,713m ・津市は、平成18年1月1日に旧津市、久居市、芸濃町、美里村など10市町村が合併し「津市」となった。 ・津市では、平成20年度を始期とする総合計画を樹立し、間伐等の森林整備により、森林の適正な管理を推進するため、その基盤である、林道、作業道の整備を進めることとしている。また、自然に親しむ環境作りのため、経ヶ峰を通して森林保全に対する市民の意識の醸成を促進することとしている。	【費用便益分析結果】 B/C = 47.5億円 / 40.1億円 = 1.18 【コスト縮減】 波形線形の採用や幅員、路肩の縮減、また、コンクリート擁壁に替え補強土壁工を積極的に活用し、土工量と法面保護工を縮小すること等により、コストの縮減を図る。 【代替案の可能性】 当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。	延長:8,287m 事業費:2,134百万円	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、事業効果を発現させるために、本事業を進めるとともに、三重の林業振興を目的とした総合的な施策をさらに推進されたい。		
							3,977	46.3%						
						H35	0	0						

平成21年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
							目標年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
								うち工事費	進捗率					
								うち用地費	進捗率					
森林整備事業(林道事業)	2	浅谷越線	熊野市	再評価実施後、一定期間が経過している事業	【全体事業概要】 延長:12,700m 【事業目的】 路網が未整備な熊野市北東部の森林における骨格となる林道として、森林の適正管理と森林資源の有効利用を図るとともに、国道42号、311号、平成24年度完成予定の熊野尾鷲道路を連絡する道路として、地域の道路網を形成することにより、津波などの災害時の迂回路として、安全確保等の役割果たすことも目的とする。	H6	2,411	73.2%	延長:10,040m	・熊野市は、平成17年11月1日に旧熊野市と紀和町の合併により「熊野市」となった。 ・熊野市では、平成20年度を始期とする総合計画を樹立し、木材流通の拡大を目標に掲げ、その実現のために行政が果たすべき役割として、林道、作業道の整備をあげている。 ・熊野原木市場におけるスギ・ヒノキの取扱量及び平均価格を平成15年度と平成19年度と比較すると、取扱量で約3割、平均価格で約2割減少している。	【費用便益分析結果】 B/C = 51.6億円 / 29.8億円 = 1.73 【コスト縮減】 波形線形の採用や路肩の縮減、また、コンクリート擁壁に替え補強土壁工を積極的に活用し、土工量と法面保護工を縮小すること等により、コストの縮減を図る。 【代替案の可能性】 当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。	延長:2,660m 事業費:646百万円	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、事業効果を発現させるために、本事業を進めるとともに、三重の林業振興を目的とした総合的な施策をさらに推進されたい。	
							2,411	73.2%						
						H26	0	0						

平成21年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度	総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要
						当初	当初						
						最終	最終						
海岸環境整備事業	503	三木浦漁港海岸	尾鷲市	<p>[全体事業概要] 整備延長L=145.5m ・突堤 L=175.0m ・護岸(緩傾斜)L=145.5m ・護岸 L=132.8m ・人工リーフ(潜堤) L=73.0m ・養浜 A=4,180m2 ・付帯施設 1式</p> <p>[事業目的] ・海岸環境整備事業にあわせ、海浜を利用したレクリエーション活動の場を提供することにより、地域住民の生活空間の向上、漁村と都市との交流を図り、地域の活性化を支援する。 ・高潮・波浪等の異常気象時に、海岸背後の住民の生命・財産を守る。</p>	H6	H16	1,525	<p>[利用面] ・当海岸は海水浴場として利用されており、平成20年度には2,199人に利用されている。 ・当海岸が造成されたことにより、地域の生活空間が向上しており、地域住民の散策の場となっている。 ・当海岸はスキューバダイビング客にも利用されており、平成20年度には1,616人に利用されている。 [防護面] ・三木浦漁港海岸整備前は、護岸が整備されていないため高波浪時に越波による浸水被害が懸念されていたが、海浜・潜堤(人工リーフ)・緩傾斜護岸等の整備後は、これらの施設による消波効果により、越波被害の軽減が図られている。 [間接効果] ・地域住民にレクリエーションの場を提供することを目的に海浜を整備したが、ウミガメの産卵が確認され、新たな自然環境が創出された。 [費用便益比] B/C=1.53</p>	<p>・養浜の施工にあたっては、施工中に濁り拡散防止フェンスを設置し、周辺への濁り対策を行った。 ・本海岸は海水浴場等の利用を目的に整備したが、ウミガメの産卵場が確認された。近年では、尾鷲市周辺でのウミガメ産卵事例は珍しく、新たな自然環境が創出されている。 ・尾鷲市が行った水質調査で、平成20年は「水質A」、平成21年は「水質AA」と判断され、良好な水質が保たれている。</p>	<p>・地域住民が散策・休憩施設として利用しており、地元住民の憩いの場となっている。 ・この地域には砂浜海岸が無かったため、子供たちが安心して遊べる場として利用されている。 ・三木浦漁港海岸背後の人家・漁家の状況は計画時からおおきな変化はない。</p>	<p>・平成21年に三木浦漁港海岸の利用者(250名)及び三木浦漁港海岸周辺住民(45名)の計295名に対してアンケートを実施 [満足の意見] ・海の眺望、周囲の景色、海水浴場ともにすばらしい。 ・小さい海岸で全体が見渡せ、安心して子供を遊ばせることができる。 ・ウミガメが産卵する場ができて良いと思う。 ・駐車場が無料のところが良い。 ・これまで無かった砂浜ができて水辺に近づけるようになった。 ほか [不満・要改善意見] ・海辺の漂着物や、砂浜のゴミを清掃してほしい。 ・トイレ周辺にゴミ箱を設置してほしい。 ・有料でも構わないのでキャンプが出来るとう良い。 ・さらに利用しやすい施設にほしい。 ・人が多くなってゴミが増え、処理が必要である。ほか</p>	<p>[事業実施による課題と留意点] ・施設の維持管理は、地域住民が担うところが大きいため、計画段階から維持管理体制についての検討が必要である。 ・施設の利用を高める啓発活動と、これを担う関係組織の連携が必要である。 [課題への対応方針] ・地域住民の参画を得て、整備計画から施設管理について意見調整を図り、維持管理の役割分担等を明確にしておく。 ・施設の魅力を伝えるPRやイベント等の開催を行う地域の組織づくりをサポートする。</p>	<p>事業の効果、今後の課題については事後評価の妥当性を認める。</p>
					H15	1,413							